



===== 目 次 =====

医学部分館と「情報センター」・・・・・・・・1	図書館利用ガイダンス報告・・・・・・・・11
学習支援窓口としての「スタディ・ヘルプ・デスク」の開設・・・・・・・・2	レポート・論文のための資料集め講座 開講中！・・・・・・・・11
私のスコーパス利用法・・・・・・・・4	医学部分館からのお知らせ・・・・・・・・12
積極的に利用したい二次文献 データベース「Scopus」・・・・・・・・4	農学部分館からのお知らせ・・・・・・・・13
Scopus の使い勝手と内容の問題・・・・・4	愛媛大学記念文庫・・・・・・・・13
デジタル散歩道(喫茶去)(2)・・・・・・・・6	松高同窓会文庫・・・・・・・・14
図書探索のためのツール紹介(2)	附属図書館委員会委員・・・・・・・・14
Webcat Plus・・・・・・・・8	附属図書館委員会・・・・・・・・14
平成 16 年度附属図書館統計・・・・・・・・11	図書館日誌・・・・・・・・15

h <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

医学部分館と「情報センター」

新井達潤

私が最も良く図書館を利用したのは小学校上級生から中学生の頃であった。小学校の頃は教室の片隅に囲われた図書室で、きれいな絵に惹きつけられて図鑑類を眺め、偉人伝記を読み、夢をふくらませた。中学校ではアルセーヌ・ルパン、巖窟王、白鯨等の活劇文庫を楽しみ、ときどき背伸びをして文学ものも読んだ。テレビがまだ一般家庭にはない頃で、時間はたっぷりあり、結構本を読んだ。高校でもはじめの頃は図書館で本を読む時間があったが、その後はご多分に漏れず受験勉強で、受験に関係のない本は読みにくくなった。大学生になってからは本を読むために図書館に行くことは少なくなり、図書館はホームワークを果たすための仕事場になった。当医学部に教員として来た頃はまだ時間があり折に触

れ図書館を訪れたが、仕事が忙しくなるとともに足が遠ざかった。特殊な専門分野の書籍・文献類は医局の方により揃っていたため、図書館を利用するのは他施設から文献を取り寄せて貰うときだけになった。

さて、長く図書館から遠ざかっていたものに分館長を下命された。分館長として図書館を眺めてみると、これまでの本を読み楽しむ所という観念とは違って、経営という言葉が前面に出てくる。分館が抱える問題点は、先日の図書・情報委員会に出された外国ジャーナルの購入費、学生用図書の不足、授業に関連した視聴覚資料の不足、学習机・椅子の不備、論文検索のための端末の台数不足、書庫の狭隘化などで、いずれも図書館の基本的活動に関連することであり早急に解決が求めら

れている。

これらのうち特に討議が重ねられたのが外国ジャーナルの購入費である。外国ジャーナルはすこぶる高い。これらのジャーナルは高い上に図書館価格というのが定められているため、図書館は個人購入の場合の何倍もの購入費を支払っている。愛媛大学は外国学術雑誌費を少しでも安くするために本年度から国外5大出版社（Elsevier, Springer, Wiley, Blackwell, Kluwer）の雑誌は全て電子ジャーナル化したが、それでも年間1億円支払っている。医学部はこのうち1150万円強を払う。医学部ではこのほかに図書館備え付けとして5大出版社以外のジャーナルを購入しており、これが1400万円となる。これらは中央経費、医学部共通経費から支払われるため、その分各講座への予算配分（基盤研究経費：約150万円）は減額される。しかも各講座ではこの基盤研究経費から講座に必要な専門雑誌を購入している。我々の講座では昨年度の講座での雑誌購入費用は120万円であった。教室予算のほとんどが外国雑誌費で消えているのである。

電子ジャーナルも冊子体雑誌も毎年値上がりする。図書館には必要と思える雑誌は出来るだけ備え付けておきたい。しかし図書館で使用する費用が増加すると各講座予算が減額され、各講座の研究活動が制限される。しかも大学からの各部局に対する予算の配分は毎年減額される。現在分館として出来るのは、5大出版社以外の冊子体数の見直し（というよりは削減）しかなく、落胆する図書館職員を励ましてその作業に入った。

図書館の形態は、特に内部的に着実に変わりつつある。私は図書館機能は3つに分けられると考えている。ひとつは最新の知見・情報を収集し配分する「情報センター」である。ジャーナル類は全てこの機能内に含まれる。ここでは速さがキーワードとなるので例外を除いて全て電子情報となると思われる。私はある欧文雑誌の刊行に携わっているが現編集長は冊子体のジャーナルは10年以内になくなると予想している。このような立場から見れば、今回の図書・情報委員会の結論は時代の流れに乗ったものではある。第2は、電子情報に変わる以前の書籍類をストックする場所としての機能である。ここには古い、しかし科学の発展を支えた文献等が大切に保管される。したがってこの機能が最も現在の図書館の形態を残す。第3は、学生等の教育の場としての機能である。ここでは医学教育のみではなく新しい情報をいかに収集するか、その方法論も学ばせなくてはならない。私は医学部分館として限られた予算のもとに最も発展させなければならないのは「情報センター」と考えている。少ない予算であっても活用の仕方によっては「情報センター」は機能を発揮することが出来る。病院の医療情報部との連携も一つの方法ではなかろうか。

最近、昔のようにゆっくりと楽しみながら本を読みたいと思う。書店に行くと新しい本をいそいそと買って帰る。仕事の合間になかなか読む暇がないため出張の際に携えて出る。しかし大抵幾ばくも読まないうちに流れる景色を見ながら眠ってしまう。

（あらい たつる 医学部分館長）

学習支援窓口としての「スタディ・ヘルプ・デスク」の開設

佐藤 浩章

大学生の学力低下問題が叫ばれて久しいが、これに対応して近年、各大学では学生の「学習支援」に力を入れている。具体的には、本学でも実施している「基礎セミナー」のような新入生向けの導入科目を通してスタディ・スキル（勉強の方法、技術）を教えたり、数学や物理といった補習科目を設置したりして学力の補強を行っている。本学でも、昨年度から図書館と教育

開発センターが連携し、基礎セミナーにおいて、図書館職員が図書館案内を実施し、学生たちに情報検索方法を教えている。こうした科目を早期に学習することで、学生は自らの学習を、高校までの受動的なものから能動的なものへと転換し、大学での学びを円滑にスタートすることができるのである。

しかし、こうしたセミナーや授業形式には、

個別対応ができていないという問題点がある。学習のつまずきというのは、個々の学生の学習履歴によって大きく異なるものであり、個別の対応が必要である。学習につまずいている理由としては、学習内容が理解できないというものから、学習意欲が低下している、生活リズムが整えられていない、相談できる友人がいないというものまで様々な要因が想定される。

米国の大学では、文章作成支援センターや数学計算支援センターなどの各種学習支援センタースタッフや、アカデミック・アドバイザーと呼ばれる学習支援スタッフが個々の学生に個別対応を実施している。また図書館職員は、本の貸し出し業務のみならず、学生の情報検索やレポート作成を支援する専門職として個別サービスを提供している。

教育・学生支援機構では、図書館と連携し、7月よりスタディ・ヘルプ・デスクを図書館入り口付近に開設することとした。スタディ・ヘルプ・デスクでは、教育・学生支援機構の専任教員ならびに大学院生が待機し、学習につまずきを感じている学生の相談にのる予定を立てている。スタディ・ヘルプ・デスクでは、下記のサービスの提供を予定している。

- ①学習全般に関わる相談（担当：機構専任教員）
勉強スケジュール指導、勉強の仕方指導、レポートの書き方指導、プレゼンテーション指導
- ②基礎教科に関わる相談（担当：大学院生）
英語、数学、物理、化学の内容について、相談を受け付ける。左記科目についての学びのコツ集の開発。
- ③図書館の使い方に関わる相談（担当：図書館職員）
情報検索、収集方法についての指導、図書館



ツアーの実施。

開室時間は、月曜日から金曜日までのお昼から夕方までで、1、2名のスタッフが常駐する予定である。スタッフ数が限られているため、十分な対応だとは認識していないが、まずは開始して状況を判断したい。

図書館に、スタディ・ヘルプ・デスクができるということは大変意味あることである。なぜならば、図書館は「知を集積し、創出する場所」である大学を象徴する場であり、その入り口に、学習を導くスタディ・ヘルプ・デスクがあることは、いかに本学が学習を大切にしているかを示すことになるからである。大学生活の中核は、アルバイトでも、キャリア開発でも、課外活動でもなく、学習でなければならない。

また大学院生がスタッフの一員であることの意義も大きい。同級生同士もしくは先輩・後輩間での教えあい、学びあう関係を大学に取り戻すことこそ、大学での学びを活性化する最も近道だからである。他大学の先行事例を見る限り、スタディ・ヘルプ・デスクは、サービスを受ける学生にとつてのみならず、サービスを提供する大学院生にとつても、学びの場であることは間違いない。

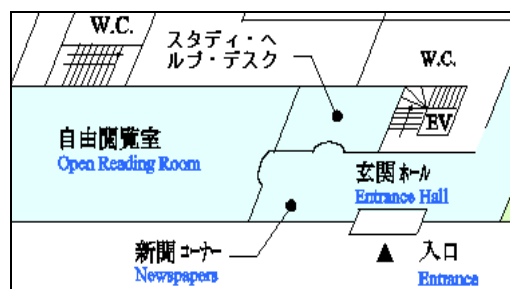
本学の中退理由において、「学業意欲喪失」「修学の意志無し」は合計3割を占める。スタディ・ヘルプ・デスクの設置によって、この数字を可能な限り減少させたいと考えている。

尚、教員の皆様に対しては、①学生への告知、②スタディ・ヘルプ・デスクでのオフィスアワー対応で、協力をお願いすることになるかもしれませんが、その際はよろしくお願ひいたします。

（さとう ひろあき 教育・学生支援機構教育開発センター）

【場所】

附属図書館1階





4月から導入しました科学・技術・医学・社会科学分野の二次文献データベース Scopus につきまして、利用法・問題点などを先生方に寄稿していただきました。より一層の御利用をお願いします。

私のスコープス利用法

佐藤 康

本年度から図書館にスコープスが正式導入された。私は、試用期間中も愛用していたことから導入を喜んだ一人である。生命科学分野での文献検索では PubMed が有名だが、検索できるのは比較的メジャーな生命科学分野の主に 1990 年以降の雑誌に限られる。その点スコープスでは、幅広い分野の論文を網羅的に検索することができるのが魅力である。例えばキーワード検索機能を使うことで、論文執筆の際など関連分野の重要な論文を見落とす心配がなくなるのである。

また、発表論文に対し、それを引用した論文を知ることができるので、自分の論文がどの程度インパクトを与えているのか知ることができ興味深い。また、キーワードで関連分野の論文を検索し引用回数で並べ替えることで、注目度の高い論文を知ることができる。

このように利点の多いスコープスだが要望もある。一つは、著者の入れ方が少し違うだけで検索されない場合等もあり、検索画面をさらに使いやすく工夫してもらいたい。二つには、1990 年以前の論文には登録されていないものもあるが、引用回数の多い論文からでも随時登録してもらいたい。その際ユーザーから登録要請できるシステムがあると良いと思う。ユーザーの声に敏感に反応し、さらに優れた検索システムとなることを期待したい。

(さとう やすし 理学部生物学科)

積極的に利用したい二次文献データベース「Scopus」

田中 潤也

二次文献データベース「Scopus」が利用できるようになって数ヶ月が経過しました。利用度はあまり高くないように感じますが、検

索した論文を引用している論文（二次文献）をすぐに見つけられるという大きな利点があります。

Scopus の最初のページを開けると、文献検索のキーワードを入れる欄が2つあり、その他に検索年代等を入れたり出来ますが、このあたりは他のシステムに比べ特に優位性は感じません。Scopus の最大の利点は、検索した文献の（Scopus がカバーする範囲内の）被引用回数とその二次文献をすぐに表示できることです。私はこの機能を、1) 論文を書くときに必要な重要文献を決定するため、2) 我々自身の論文が誰にどのくらい利用されているかを知るために積極的に利用しています。論文執筆時に、ある項目について同じような論文が多数出ている場合、どの論文を引用すべきか決定に迷う場合があります。このような場合に、Scopus に出てくる被引用回数や引用先を検討することで絞り込みが容易になりました。また、我々自身の論文の被引用回数や被引用先が、我々のパソコンから容易に調べられるようになったことで、かつての研究成果がどのような方向に発展しているのかを調査し、再評価することができ、論文執筆時はもちろん、種々の申請書作成時にも威力を発揮します。このような利点を持つ Scopus を、より多くの先生方に積極的に利用していただきたいと思います。

(たなか じゅんや 医学部分子細胞生理学)

Scopusの使い勝手と内容の問題

渡邊 裕

文献検索はなくてはならない。今では電子化され大変便利になった。ところが、愛媛大学の化学の分野に限ってみてみると今一つ不満な状態であったが、Scopusが今年度から導入され、久々の朗報となった。それほど使いやすい、導入以前のトライアルでもScopus

の良さを実感した。以下にその感想を述べてみたい。

キーワードの選択をうまく行えば、期待に応えてくれるだけの検索ができると思われる。便利なものとして、検索でヒットしてきた論文の多くがPDFファイルとして手に入るということである。本学の電子ジャーナルが充実したことと関連してありがたい機能である。また、ヒットした論文の横に、その論文がどこに引用されているかを教えてくれる。CIに相当するもので、その論文の注目度の指標になるし、関連文献を知ることにもなる。ただし、自分で自分の論文を引用した場合もヒットするので、自分の論文を検索して引用件数が多いからと喜んではいけない（自分自身の引用分を除外することもできる）。ヒットした論文の著者をクリックするとその研究者の論文リストも集められる。

研究者の活動状況を簡単に知ることもできる。その名前から検索してその人の研究内容の詳細までわかり、目的に応じて使える。関連して面白いのは、権威のあるJ. Am. Chem. Soc. に誰がどのくらいの数の論文を出しているかを即座に知ることができる。日本人のみに絞り込んでランキングもわかる。

Scopusのカバーする範囲はElsevierらしく極めて広く、文系の研究者にも利用できるデータベースとなっており、購読料から考えれば納得のいくものであると思われる。

以上、良いことばかりを書いたが、欠点も知っておく必要がある。それは、過去10年のデータベースはしっかりしているが、それ以前のデータの充実度はかなり低いのではないかと思われることである。私の経験の一つは、我々の最近出した論文にこの論文が引用されていないと読者からクレームがきたことである。1976年のその論文がヒットせず、Scopus

の収録範囲について疑問をもち、次のような検索を行ってみた。その結果、おひぎ元の自社刊行の雑誌でさえ全部の論文をカバーしているわけではなく、比較的最近の1986年のTetrahedron Lettersに出した我々の論文がヒットしなかった。同じ雑誌の1974年の論文はヒットしたが、1977年のものは引っ掛からなかった。このTLの収録論文数を検索してみると、1999年から2004年までは年間2千件あまりの論文を収録しているが1998年になると692件と極端に落ちる。このことから、TLでは1998年以前のデータがかなり端折られていると推測される。早急の充実を強く望みたい。

文献検索は自分の研究にかかせない。論文査読にもかかせない。人事や管理面でも使えそうである。その意味でScopusは使い勝手の良いものであり、広く教員の方はもちろん学生にも利用するように勧めたい。ただし、まだデータバンクとして未熟なものである。そんなことで、化学の分野ではより普及し便利で強力な検索システムとしてSciFinderというものに目がいってしまう。年、600万円程で高価ではあるが、かなり利用機関が増えてきた。数年前に、学生向けの月刊誌にまでその使い方が詳しく紹介されたくらいで、当時愛媛大学として導入できてないことに恥ずかしい気持ちにもなった。良い研究環境を整えていかないと良い研究者が集まりにくいし、SciFinderくらいは導入をして欲しいと思っている。他の分野での状況も把握して大学の財産として図書関係の充実を図るようにしてもらいたいと願っている。

(わたなべ ゆたか 工学部応用化学科)

Scopusの収録ジャーナルの方針 (<http://japan.elsevier.com/scopus/intro/>より)

- Scopusは、科学・技術・医学・社会科学分野の重要なすべての文献を含む最も包括的なデータベースであることを目指しており、Scopusに追加すべきジャーナルを継続的に見直していきます。
- ジャーナルの基本的な品質の基準（ピアレビュー、出版スケジュールの遵守など）を満たすすべてのジャーナルを含めるよう努力していきます。ジャーナルに地域的な偏りがないように、英語抄録がある限り英語以外のジャーナルも歓迎します。また、電子のみのジャーナルの追加も検討していきます。
- Scopusに搭載を希望するジャーナルがありましたら [Scopus Content Team](#) までご連絡ください。新規タイトルのScopusへの搭載は、年に2回（6月・12月）行われます。



シリーズ 電子図書館紹介 ② ～デジタル散歩道（喫茶去）～

<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/Denshi/index.html>

今回は、電子図書館のトップを飾り、「句碑めぐり」一めぐりあう人と歴史と文学一を紹介しましたが、今回は、本学図書館が所蔵する郷土資料「西條誌稿本」と「江嶋家文書」を紹介しします。それぞれ平成13年度西条市、平成14年度今治市との共同事業でCD-ROM化するとともにインターネットに公開したものです。学校教材、生涯学習資料として活用されています。平成15年度、地方自治体との共同事業化及び地域連携の取組みが高く評価され「国立大学図書館協議会賞」の荣誉に輝きました。また、平成16年4月27日文科科学省HPで「国立大学図書館における特色ある取組について」で紹介されました。（http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/16/04/04042602.htm）

郷土資料は、地方の宝典資料、地方自治体との共同（協同）資料です。その魅力を十分に味わっていただければ幸いです。

郷土資料1) 「西條誌稿本」

ー 170年前の歴史パノラマー



【西條誌稿本トップページ：
表紙は、郷土博物館所蔵屏風】

◆はじめに

「西條誌稿本」は、第9代西條藩主松平頼学（よりさと）の命により、儒学者日野和煦（にこてる）が、天保7年から13年にかけて編術し、領内70カ村の事情をとりまとめた地誌です。

西條藩の版図は、現在の東予市から四国中央市に至る広い範囲にわたり、西条市・新居浜市をはじめとして地域の郷土史研究の基礎的宝典史書として読まれてきました。

◆表紙は郷土博物館所蔵屏風

表紙は、全体をイメージさせ、インパクト性を持つ必要があることから、西条市立郷土博物館所蔵「西條藩領内図屏風」が当時を偲ぶものとして選ばれました。クリックすると大画面が表示されます。

また愛媛大学学章と西条市章を表示して、アイコンからそれぞれのホームページにリンクしました。

◆ブライト機能：翻刻文は縦書き表示

目次は、全20巻の巻頭や村にリンクしました。リンク先にマウスをもっていくと光るブライト機能をつけたほか、壁紙も古風な文様にし、趣のある目次となっております。

また、原本が縦書きに対して、翻刻文が横書きになっており、見づらい点も含めて違和感がありました。そのため、翻刻表示は縦書きとし、原本の画像と行頭をそろえて見やすくしました。



【目次】

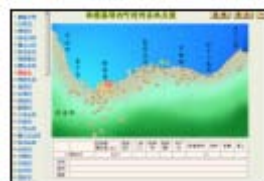


【翻刻縦書き表示】

◆所在図とデータ一覧

西條藩70カ村の所在地点を地図上で理解してもらうため、所在図を作成しました。調べたい村にマウスをもっていくと地図上の該地点が点滅します。該当の村をクリックすると、原文が表示されます。

また、村名沿革、村境など、列挙された数項目から、各村の石高、家数や人数などが一覧表示でき、村の大きさや産物などを比較することができます。



【所在図】



【データ一覧】

◆絵図

絵図の美しさ・リアルさは、教科書資料集で紹介されるなど、彩色豊かであり、その原色西條誌絵図の復刻版が待たれていました。巻ごとに絵図を羅列的に表示し、原本にリンクしました。

◆検索機能

稿本本文中のキーワードから検索できるようにしました。

郷土資料2) 「江嶋家文書」

ー郷土史や江戸時代の家老職の実態などを探る地域資料ー



【江嶋家文書トップページ】

◆はじめに

「江嶋家文書」は、江戸時代初期に活躍した今治藩家老江嶋為信関係文書・書簡・短冊などの資料です。系図、家譜、知行証（歴代当主が藩主から受け取った石高を証明した文書）などの公的な文書や婚礼次第、婚姻ひかえ、出品礼状、献立などの生活実務的文書、今治城図、城下屋敷図などの図面、幕長戦争時の関係資料（船律、隊商図など）の多種多様な資料があります。

◆「天保年間」の今治城絵図

天保年間の今治城絵図と現在の城周辺の風景を対比しました。今治藩城下屋敷見取図や、現在の今治城もご覧いただけます。



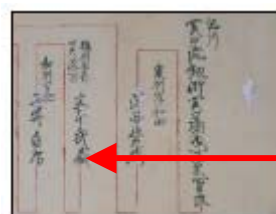
【今治城絵図】



【現在風景】

◆「今治藩」兵学は、宮本武蔵の流れを汲む

今治藩に登用された津田覺左衛門が伝えた以心得宗流は、宮本武蔵の流れを汲むとされています。宮本武蔵の出生は、二説ありますが、この資料によると・・・



宮本武蔵

【播州赤松四天流二刀宮本武蔵】

◆天保四（1833）年正月廿二日の婚礼次第

婚礼当日の献立目録、長さ3.8mの巻物に、料理を出す場面、料理名、材料名が記されています。



教育学部の学生が、懐かしい今治の家庭料理をみごとに再現しました。



◆印籠

薬などを入れていましたが、装飾品に発展していきました。



【江嶋家印籠】

◆ゲーム

若年層が地域文化に興味を抱くきっかけにゲーム（「ブロックパズル」「ふくわらい」「神経衰弱」「おみくじ」）を取り入れました。

大吉が出るまで、ためしてみてください。



(松本秀毅 学術情報課 専門役)

学術情報リテラシーシリーズ（第2回）

図書探索のためのツール紹介～Webcat Plus（国立情報学研究所）

Webcat Plus は、図書探索のための基本ツール（道具）の一つです。日本の大学図書館などの所蔵情報、新刊書情報等を対象に

- あるテーマに関する図書を探したい時、
- 特定の図書・雑誌を検索したい時、非常に

有用です。これらの利用目的に従い、二つの検索画面（連想検索、一致検索）が用意されています。このサイトへの道順と検索画面に説明を加え紹介します。

【Webcat Plus への道順】

「図書館ホームページ」の「リンク集」→「県内・国内の所蔵を調べる」→「Webcat Plus」

【Webcat Plus 連想検索画面】（<http://webcatplus-international.nii.ac.jp/>）と検索方法

一致検索を行う場合ここをクリック

Webcat Plusとは 著作権とリンク
本の探し方ガイド 連想検索について

連想検索

一致検索

① 検索語入力
地球温暖化
global warming

② チェックする

日本語図書のみ 日本語+英語図書 10件 表示

検索 クリア

必ずお読み下さい。

③ 検索ボタンをクリック

お知らせ 2005/0/ 一致検索 ございま 障害は対策を終えました。ご迷惑をおかけしまして、申し訳

Webcat Plusの2つの検索方法

Webcat Plusの特徴

- テーマに関連する情報を即座に探し出す「連想検索機能」が、自分の関心に適した図書を見つける手助けをします。
- 毎週追加される最新の図書から、明治期以前に発行されたような古い図書まで、一括して探すことができます。
※現在、連想検索では日本語・英語図書9,220,909件を、一致検索では図書・雑誌11,774,544件を収録しています。
- 目次や、帯・カバーなどに書かれた内容の情報を見ることができます（1986年以降発行分）。また、図書を所蔵している大学図書館などの情報を知ることができます。

関連リンク

- ▶ Webcat (元祖) 全国の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌を検索できます。
- ▶ GeNii NII学術コンテンツ・ポータル

【検索手順】

上の画面に矢印していますように①検索窓に検索語を入力、②英語図書を探す場合は「日本語+英語図書」にチェックし結果一覧表示件数をプルダウンし希望する件数を選びます、③検索ボタンをクリックします。

【検索結果表示画面】と検索結果の見方

Webcat Plus 連想機能でベストの本探し

Webcat Plusとは 著作権とリンク
本の探し方ガイド 連想検索について

連想検索 一致検索

地球温暖化 global warming 検索語 検索 クリア

日本語図書のみ 日本語+英語図書 10件 表示

連想検索結果 1-10件 / 全137654件 次の結果

結果から 連想検索 記号の説明 日本語図書のみ 日本語+英語図書 10件 表示 検索

内容・目次あり 所蔵図書館情報あり シリーズに関する図書あり

関連ワード: 温暖, 地球, 化, warming, 二酸化炭素, 環境, 温室, 問題, 気候, 影響, 章, global, 対策

1. 地球温暖化：地球規模の政策 (7)
[ビデオ] -- ジェムコ出版, c1999, ビデオカセット1巻(29分). -- (GEMCOビデオプログラム: DU310-01. 国際社会における環境政策|ロクサイシヤカイニオケル カンキョウ セイサク)

2. Global warming: the research challenges: a report of Japan's global warming initiative (2)
edited by Atsunobu Ichikawa; : [hardback] -- Springer, c2004, xiii, 161 p.

★ 3. 地球温暖化防止をめぐる法と政策 (69) ← 所蔵図書館数
人間環境問題研究会編 -- 有斐閣, 1999.7, ii, 172p. -- (環境法研究 / 人間環境問題研究会編集; 25号)

4. 大気水圏科学からみた地球温暖化 (177)
半田暢彦編 -- 名古屋大学出版会, 1996.3, ix, 380p, 図版1枚.

5. 中・高校生のためのやさしい地球温暖化入門 (21)
後藤則行著 -- あすなろ書房, 1998.8, 181p.

★ 3.の「地球温暖化防止をめぐる法と政策」をクリックする下記の画面が表示されます。

Webcat Plus 連想機能でベストの本探し

図書情報

地球温暖化防止をめぐる法と政策
人間環境問題研究会編 -- 有斐閣, 1999.7, ii, 172p. -- (環境法研究 / 人間環境問題研究会編集; 25号)
<BA42853499>

所蔵図書館 69館

ここをクリックする所蔵する図書館名, 請求記号が表示され, 更に表示された「図書館名」をクリックすると図書館の住所・利用案内を見ることができます。

書誌情報	タイトル	地球温暖化防止をめぐる法と政策 [チキウウ オンダンカ ボウシ オ メグル ホウト セイサク] (環境法研究 / 人間環境問題研究会編集; 25号)
	責任表示	人間環境問題研究会編
	資料種別	
	版表示	
	出版事項	東京: 有斐閣, 1999.7
	形態事項	ii, 172p; 22cm
	ISBN	4641128618

より詳しい図書の情報が表示されます。

【Webcat Plus 一致検索画面】 検索方法

The screenshot shows the Webcat Plus search page. On the left, there are two main search modes: '連想検索' (Associative Search) and '一致検索' (Consistent Search). The '一致検索' section is active. It features several input fields for search criteria, each with a numbered callout:

- ① **タイトル** (Title): Input field containing '地球温暖化防止をめぐる法と政策' (Example: 銀河鉄道の夜).
- ② **著者名** (Author Name): Input field (Example: 宮沢賢治).
- ③ **出版者** (Publisher): Input field (Example: 小学館).
- ④ **出版年** (Publication Year): Range input field (Example: 2002~2002).
- ⑤ **ISBN/ISSN等** (ISBN/ISSN, etc.): Input field (Example: 4-101108-0-21, 4101108021).
- ⑥ **キーワード** (Keyword): Input field.
- ⑦ **検索範囲** (Search Scope): Includes checkboxes for '図書' (checked), '雑誌' (unchecked), and '図書館所蔵資料に限定' (unchecked).
- ⑧ **表示順** (Display Order): Dropdown menu set to '出版年(新しい順)' (Publication Year (Newest)).
- ⑨ **表示件数** (Number of Items): Dropdown menu set to '10件' (10 items).
- ⑩ **検索** (Search): The main search button.

Additional callouts include a box at the top right with links for 'Webcat Plusとは', '著作権とリンク', '本の探し方ガイド', and '連想検索について'. A text box above the search fields says '詳細は、ここをクリックしてお読み下さい。' (For details, click here to read).

【図書検索】

一致検索では、①～⑥の検索キーが用意されていますので、タイトル、著者名、キーワードなどから検索できます。それぞれの検索窓に検索語を入力し、⑦で図書を探す時は「図書」のチェックを確認し、「表示順」・「表示件数」をプルダウンし選択、⑨の「検索」ボタンをクリックしてください。「日本」など一語の書名の図書を探す場合、⑩で「部分一致」にデフォルトされているのを、「完全一致」にチェックし検索してください。（「タイトル」に「日本」で完全に一致にチェックしないで検索すると書名が日本で始まる図書全てを表示します。

This inset shows the search results for the keyword '日本' (Japan). The search scope is set to '図書' (Books) and the search method is '完全一致' (Exact Match). The results list '日本' as the title, with an example '銀河鉄道の夜' (Night on the Galactic Railroad).

【雑誌検索】

雑誌を検索する時は、「タイトル」に雑誌名を入力し、⑦で「雑誌」にチェックし検索してください。

下記のように省略しても検索できます。

This inset shows a search for the journal title 'journ amer chem soc'. The search scope is set to '雑誌' (Magazines) and the search method is '部分一致' (Partial Match). The results list 'journ amer chem soc' as the title, with an example '銀河鉄道の夜'.

一語の雑誌名の検索方法

下記のように「完全一致」にチェック

This inset shows a search for the journal title 'science'. The search scope is set to '雑誌' (Magazines) and the search method is '完全一致' (Exact Match). The results list 'science' as the title, with an example '銀河鉄道の夜'.

★ 検索結果の見方は、「連想検索」と同じです。

平成16年度附属図書館統計

● 蔵書冊数

(平成17年3月31日現在)

区分	和漢書	洋書	計(冊)
本館	698,991	293,927	976,918
医分館	45,520	57,076	102,596
農分館	88,972	24,350	113,142
計	817,303	375,353	1,192,656

● 貸出冊数

区分	教職員	学生	その他	計(冊)
本館	2,845	60,099	2,560	65,504
医分館	1,600	9,116	510	11,226
農分館	450	4,084	217	4,751
計	4,895	73,299	3,287	81,481

● 増加冊数

区分	和漢書	洋書	計(冊)
本館	△15,250	2,791	△12,459
医分館	900	1,151	2,051
農分館	1,259	360	1,619
計	△13,091	△4,302	△8,789

● 貸出人数

区分	教職員	学生	その他	計(人)
本館	1,590	34,342	1,257	37,189
医分館	943	5,398	250	6,591
農分館	278	2,369	121	2,768
計	2,811	42,109	1,628	46,548

● 所蔵雑誌種類数 (平成17年3月31日現在)

区分	和雑誌	洋雑誌	計(種)
本館	8,820	4,339	13,159
医分館	1,648	1,367	3,015
農分館	2,724	929	3,653
計	13,192	6,635	19,287

● 学外文献複写受付件数 (現物貸借を含む)

区分	大学図書館	その他	計(件)
本館	2,065	218	2,283
医分館	2,271	437	2,708
農分館	851	103	954
計	5,187	758	5,945

● 受入雑誌種類数

区分	和雑誌	洋雑誌	計(種)
本館	4,178	1,253	5,431
医分館	775	454	1,229
農分館	1,079	252	1,331
計	6,032	1,959	7,991

● 学外文献複写依頼件数 (現物貸借を含む)

区分	大学図書館	その他	計(件)
本館	1,891	149	2,040
医分館	3,122	116	3,238
農分館	990	84	1,074
計	6,003	349	6,352

図書館利用ガイダンス報告

附属図書館では、「図書館利用ガイダンス」を共通教育1年次学生の授業科目「基礎セミナー」などにおいて、下記のとおり実施しました。

- (1) 期間：4月4日(月)～6月13日(月)
- (2) 回数：30回(本館25回, 医学部分館4回, 農学部分館1回)
- (3) 受講者数 1,007人

本館「基礎セミナー」での説明内容

- 1. 大学図書館の役割
- 2. 情報探索技術の重要性
- 3. 図書館についての基礎知識
 - (1) 施設概要

- (2) 資料の種類
- (3) 図書の種類と配列
- (4) 図書館のサービス

「レポート・論文のための資料集め講座」
開講中！

附属図書館本館では、情報リテラシー教育支援として「新聞記事の探し方」、「雑誌記事の探し方」(MAGAZINEPLUS, CiNii, SCOPUS, ERIC etc), 「電子ジャーナルの使い方」, などのメニューを準備し, 受講者が希望するメニューで説明会を行っています。この講座のメニュー・申込は「図書館ホームページ」(学内向けサービス下のバナー)にあります

ので、御覧になり是非御活用くださるようお願いいたします。

医学部分館・農学部分館でも独自メニューで行いますので、それぞれのカウンターにお問い合わせ下さい。

医学部分館からのお知らせ

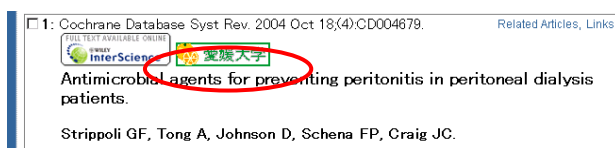
【The Cochrane Library 導入】

The Cochrane Library はコクラン共同計画の成果を公表するもので、様々な臨床試験のシステムティック・レビュー（終了したものは全文、作成中のものは目的や方法論など）・レビュー作成の基準・元になる書誌等の8つのデータベースから成っています。中心となるレビュー:CDSR(the Cochrane Database of Systematic Reviews)の書誌はMEDLINEにも収録され、EBMの実践に欠かせない資料といえます。今年度より、CDSRの全文をはじめとする全データの利用が可能となりました。図書館のホームページからWiley InterScience 経由でご利用下さい。PubMedのAbstract画面にも全文へのリンクが表示されています。

<WileyからのCochrane Libraryの入口>



<PubMedの書誌>



愛媛大学専用ページから入るとアイコンが表示されます。

【CINAHLのプラットフォームがOvidに】

看護学・保健分野を中心とした文献データベースCINAHLは、従来のSilverPlatterに代わり、今年度よりOvid経由の利用となりました。各書誌には、References一覧・OPACリンク・電子ジャーナル全文へのリンク等が備えられています。書誌事項から直接文献複写依頼をすることも可能です。図書館のホームページからOvidの入口にアクセスし、[CINAHL]をクリックしてください。

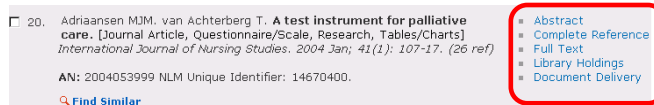
またOvidの入口からMEDLINE@Ovidもご利用になれます。PubMedとの相違点として、MeSHを使用した詳細な検索が可能で、MEDLINEに採用されなかった書誌の蓄積があることなどが挙げられます。

CINAHLとMEDLINEを同時に検索することもできます。検索方法など詳しくは医学部分館までお尋ね下さい。なお、同時アクセス数は4件です。終了時は必ずログオフをお願いします。

<Ovidの入口>



<書誌の一例>



右端に各種リンクがあります。

Complete Reference…

文献情報 (Subject Heading など)

Full Text…電子ジャーナル全文へのリンク

Library Holdings…

愛媛大学 OPAC リンク (冊子体所蔵)

Document Delivery…

文献複写依頼(事前にWebサービス登録が必要)

農学部分館からのお知らせ

図書館農学部分館ホームページ (<http://www.lib.ehime-u.ac.jp/AGRLIB/>) をリニューアルしましたので是非ご利用ください。


農学部関係のリンク集も追加され、お知らせコーナーもリニューアルし、利用しやすくなっています。

愛媛大学附属図書館農学部分館 (Agricultural Library)

《お知らせ》

2005.7.1 今年度分の農学部分館継続雑誌一覧を掲載しています。

2005.7.1 [夏季休業中の特別\(長期\)貸出について](#)



★学外者の方へ★ 当館は学外者の方もご利用になれます。
[こちら](#)に利用案内がありますのでどうぞご利用下さい。

- [平成17年度開館予定表](#)
- [24時間開館について](#)
- [貸出期間](#)
- [樽味地区案内](#)
- [交通アクセス](#)
- [英語版\(English\)](#)

- [所蔵資料紹介](#)
- [新聞所蔵状況](#)
- [分館備付け雑誌](#)
- [和雑誌](#)
- [洋雑誌](#)
- [蔵書目録検索\(OPAC\)](#)

- [リンク集](#)
- [分館平面図](#)
- [分館写真玄関](#)
- [分館写真1F付近](#)
- [沿革](#)
- [歴代分館長](#)

愛媛大学附属図書館農学部分館
 〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号
 TEL 089(946)9914 (ダイヤルイン)
 FAX 089(947)2466

愛媛大学記念文庫

平成16年度に下記の先生方から著書を御寄贈いただきました。(順不同、敬称略)

寄贈者	書名	編著者	出版社	出版年
湯浅良雄	地域情報化の時代：地域に根ざした情報化の可能性	湯浅良雄ほか	晃洋書房	2004
矢野忠	武谷三男博士の業績リスト	矢野忠	日本物理学会	2003
宮崎幹朗	武谷三男博士の著作目録	矢野忠	日本物理学会	2004
川岡勉	湯築城と伊予の中世	川岡勉ほか	創風社出版	2004
栗田正秀	刑法における被害者の同意	須之内克彦	成文堂	2004
松井隆幸	中・東欧の貿易と技術に関する序論	松井隆幸	愛媛大学法文学部総合政策学科	2004
西村勝志	金融自由化の諸問題と金融機関の会計「ディスクロージャー」制度	西村勝志	愛媛大学法文学部総合政策学科	2004
川岡勉	伊予河野氏と中世瀬戸内世界：戦国時代の西国守護	川岡勉ほか	愛媛新聞社	2004
金藤泰伸	文化の地理へ	金藤泰伸	青葉図書	2004
金藤泰伸	伊予の風土からの発信	金藤泰伸	青葉図書	1993
中村則弘	脱オリエンタリズムと日本における内発的發展	中村則弘	東京経済情報出版	2005
矢野忠	数学散歩	矢野忠	国土社	2005
加藤国安	伊予の陶淵明近藤篤山	加藤国安ほか	研文出版	2004
白方勝	冷泉為村と伊予の歌人たち	白方勝	白水書菴	2004

松高同窓会文庫

平成16年度に旧制松山高等学校出身者等の下記の図書を受け入れました。

寄贈者	書名	編著者	出版社	出版年
原 俊彦	ドイツ民謡選	原俊彦ほか	三修社	1965
原 俊彦	原俊彦ドイツ民謡コレクション		[京都市立芸術大学]	[1998]
原 俊彦	欧州の印象	原俊彦	[原俊彦]	[1967]
原 俊彦	異国の旅の出会い	原俊彦	[原俊彦]	[1968]
原 俊彦	かっつく・つんどく	原俊彦	大阪学院大学通信教育部	1989
原 俊彦	ウーラントと民謡	原俊彦	龍谷学会	[1971]
原 俊彦	ウーラントのパリ遊学日記	原俊彦	京都府立医科大学人文系教室	1972
大植登志史	本能の研究	テイハルン, N	三共出版	1957
三和銀行	上枝一雄追想録	追想録刊行委員会	三和銀行	1988
今井福三郎	時空の流れと共に	今井福三郎	[今井福三郎]	1995
北川淳一郎	いしづち：松高山岳史	北川淳一郎	北川先生喜寿記念会	1967
小川純	四季の山の詩：詩集	小川純	近代文芸社	1995
石丸米代	一筋の道	石丸米代	石丸米代	1991
大野盛直	杉・杉以後	大野岬歩	[大野盛直]	1971
村上光	夏の雲：随想	村上光	草茎社	1997
山本威	落語で哲学しよう：人生から宇宙まで	ポンポコ亭凡太郎	山本威	2000
	旧制高等学校全書第1巻	旧制高等学校資料保存会	旧制高等学校資料保存会刊行部	1985
	旧制高等学校全書第2巻	旧制高等学校資料保存会	旧制高等学校資料保存会刊行部	1985
	旧制高等学校全書第6巻	旧制高等学校資料保存会	旧制高等学校資料保存会刊行部	1985

附属図書館委員会委員

(平成17年4月1日現在), ()内は任期満了日

附属図書館長 讃岐 幸治 (18. 2. 28)
 医学部分館長 新井 達潤 (19. 2. 28)
 農学部分館長 橘 燦郎 (18. 10. 31)
 法文学部 上山 友一 (18. 3. 31)
 法文学部 西 耕生 (19. 3. 31)
 教育学部 福田 安典 (18. 3. 31)

教育学部 中西 淳 (19. 3. 31)
 理学部 川寄 智佑 (18. 3. 31)
 理学部 坂口 茂 (19. 3. 31)
 医学部 鳥居 本美 (19. 3. 31)
 工学部 藤井 雅治 (18. 3. 31)
 工学部 市川 裕之 (19. 3. 31)
 農学部 酒井 俊典 (18. 3. 31)
 学術情報部長 淵上 光明

附属図書館委員会

○平成17年度第1回附属図書館委員会

日時 平成17年6月8日(水)

場所 附属図書館視聴覚室

議事

[報告事項]

1. 平成16年度附属図書館事業報告について
2. 平成17年度附属図書館事業計画について
3. 学術情報文献データベース SCOPUS の導入について
4. 平成16年度学生用図書購入状況について

5. 平成17年度シラバスにおける図書館備付推薦図書の整備状況について
6. 平成17年度「図書館利用ガイダンス」の実施状況について
7. デジタルコンテンツ研究会の平成16年度活動報告及び平成17年度活動計画について
8. スタディ・ヘルプ・デスクコーナー設置について
9. 教科書展示(中学校用)について
10. 新図書館システムの導入について
11. 県内図書館交流会に向けての打合せにつ

- いて
12. 第 53 回中国四国地区大学図書館協議会
総会及び第 32 回国立大学図書館協会中国
四国地区協会総会について
13. 分館近況報告
14. その他
- 1) 平成 17 年度新ガイドンスについて
[協議事項]
1. 平成 18 年度概算要求について
2. 資料の寄託について
3. 学生用図書の実充について
4. 平成 17 年度附属図書館各委員会について
- 1) 附属図書館自己点検・評価委員会
- 2) 附属図書館将来計画委員会
- 3) 附属図書館図書選定小委員会
5. その他

図書館日誌（会議，研修）

- 4 月 21 日 第 53 回中国四国地区大学図書館協議会総会（山口）讃岐附属図書館長，瀧上學術情報部長，内山學術情報課長出席
- 4 月 22 日 第 32 回国立大学附属図書館協会中国四国地区協会総会（山口）讃岐附属図書館長，瀧上學術情報部長，内山學術情報課長出席
- 5 月 18 日 平成 17 年度第 1 回「情報基盤システム」仕様策定委員会
- 5 月 19 日 第 75 回日本医学図書館協会総
～20 日 会（新潟市）星川 TL 出席
- 5 月 30 日 館報編集委員会（図書館だより第 78 号）

- 6 月 1 日 県教育委員会，県立図書館との
打合せ（附属図書館視聴覚室）
- 6 月 3 日 平成 17 年度第 2 回「情報基盤システム」仕様策定委員会
- 6 月 8 日 平成 17 年度第 1 回附属図書館委員会
- 6 月 15 日 平成 17 年度第 1 回医学部分館
図書・情報委員会
- 6 月 15 日 平成 17 年度第 1 回農学部分館
運営委員会
- 6 月 17 日 平成 17 年度教科書展示会（第一
～30 日 グループ学習室）
- 6 月 22 日 平成 17 年度第 2 回医学部分館
図書・情報委員会
- 6 月 23 日 平成 17 年度第 1 回図書収集事
務委員会
- 6 月 27 日 平成 17 年度第 1 回資料保存 WG
- 6 月 28 日 平成 17 年度第 1 回情報リテラ
シー教育支援 WG
- 6 月 29 日 第 52 回国立大学図書館協会総
～7 月 1 日 会（名古屋市）讃岐附属図書館長，瀧上學術情報部長，内山學術情報課長出席
- 7 月 13 日 平成 17 年度第 3 回医学部分館
図書・情報委員会
- 7 月 21 日 平成 17 年度愛媛地区大学図書館協議会総会（附属図書館視聴覚室）
- 7 月 22 日 寄託資料「世紀堂文庫」記者発
表（学長室）
- 7 月 28 日 平成 17 年度第 2 回農学部分館
運営委員会

【図書館南側植え込みのトマト】

